

## 精一杯の感謝を込めて

### 大槌ありがとうロックフェスティバル

震災後、大槌町は全世界から支援されてきました。今まで、大槌町を支援してくれたすべての人に感謝の思いを伝えるため、6月30日（土）、大槌ありがとうロックフェスティバルが開催されました。このロックフェスティバルには、プロ・アマチュアのバンドや7月にメジャーデビューする白澤みさきさん、虎舞など30組が出演しそれぞれの方法で「ありがとう」を伝えました。

締めくくりは、町民の募金によって準備された打ち上げ花火。夜空に咲く大輪の花に、会場にいたすべての人が笑顔で夜空を見上げていました。



## 白熱!! ソフトバレー

### 南リアスソフトバレーボール大会開催

7月15日（日）、城山体育館はソフトバレーボールを楽しむ人たちの笑顔と歓声で満たされていました。その日は震災後初めて、南リアスソフトバレーボール大会が開催され、県内外から20チームが参加。日ごろの練習の成果を競い合いました。

2000年から開催されたこの大会は、震災の影響で去年は開催できませんでしたが、他市町村などの協力もあり再開。大会の規模は震災前に比べて小さくなりましたが、さわやかな汗を流しながら、ボールをつなぐ参加者の表情はとても充実していました。



# まちの話題あれこれ

## 野田総理、大槌町を視察

「復興を加速しなければならない。」

そう強く語ったのは、野田佳彦内閣総理大臣です。7月14日（土）、総理は平野達男復興大臣、達増拓也岩手県知事とともに大槌町と釜石市を視察に訪れました。大槌町では、城山から町を見渡しなが町長が被害状況を説明。その後、大槌北小福幸きり商店街とシーサイドタウンマストを視察しました。

視察中、総理は町民の握手や声援に気軽に応じ終始笑顔でしたが、町長の被害状況説明では、真剣な眼差しで聞いていました。また、復興を加速するための取り組みとして、中小企業の二重ローン問題の支援決定を180日から90日に短縮できるように関係省庁に指示する方針を示しました。



## 奮闘、中学生力士

大槌町営相撲場に威勢の良いぶつかり稽古の音と掛け声が響き渡りました。6月16日（土）、17日（日）に大相撲峰崎部屋が大槌町を訪れ、相撲スポーツ少年団と合同稽古を開催。稽古は土俵を清めることから始まり、すり足、ぶつかり稽古、四股などを行いました。

中学生はプロの力士による普段よりも厳しい稽古にも関わらず、集中力を切らさず最後まで乗り切りました。厳しい稽古を乗り越えた中学生力士の表情は凛として、一回りも二回りも成長したように感じました。



## 新たな連携協定 関西大学と調印式

大槌町はこれまで、東京大学、明治学院大学、秋田県立大学と復興に向けての協定を結びました。7月10日（火）、この3大学に続いて新たに関西大学とIT（情報技術）関連の起業支援事業を行う連携協定を締結。

この協定では、市場が拡大しているスマートフォンのアプリケーション作成を中心として、人材育成と起業支援を行っていきます。この協定に対し関西大学の楠見晴重学長は「IT関連の人材育成、また雇用創出の場となりたい」と話し、町長も「新たな雇用創出に力を貸してほしい」と応えました。

